

◆令和5年度 第1回ふくしま元気トーク（令和5年8月26日開催）

テーマ：「誰もが健康で安心して暮らせるまち ふくしま」

No.	カテゴリー	意見・提案内容	実施区分	担当課コメント	所管部名	担当課名
1	子育て・保育	<p>・病院の中で子どもを見てくれるところ、安心して子どもを預けられるような場所が増えたらいいと思います。</p> <p>・両親の近くで子育てしたいと思うけれども、皆が皆、両親に助けを求めることができることも限らないので、子どもを預けられるところの確保が重要だと思います。</p> <p>・お母さん同士が交流する場とか、お母さんが少し息抜きできる場などがあると、子育てするお母さんは嬉しいのかなと思います。</p>	実施済み	<p>・親子が交流できる場として、市内23箇所に「地域子育て支援センター」を設置しています。主に未就学のお子さんとその保護者を対象に、交流の場の提供や、専任スタッフによる子育て相談、地域の子育て関連情報の提供など行っており、他の親子と交流したい方、子育てに関する悩みや不安をお持ちの方に利用していただいています。</p> <p>・保育所や幼稚園へ通う年齢でもご家庭でお子さんを育てたいという方などのリフレッシュや負担軽減のため、週1～2回定期的にお子さんを預けることができる事業を実施しています。</p> <p>・病気または病気の回復期にあり、保育施設などに預けることができないお子さんの預かりについては、「ファミリーサポート事業」で対応しています。「お子さんを預かってほしい方」と「お子さんを預かることができる方」が会員となり、お互いに信頼関係を築きながら子どもを預け・預かる、地域が主体となっていく子育て支援の有償ボランティア活動です。</p>	こども未来部	こども政策課
			実施済み	<p>・病院を含め、さまざまな事業所で「事業所内保育所」を設置しており、市でも設置の際の支援や運営の支援などを行っています。</p> <p>・公立においても、保育所などでの延長保育や一時預かりのほか、より幅広いニーズに対応するため、市立御山保育所で令和5年11月から休日保育を開始しました。</p> <p>・お子さんが病中病後の際にも保育を利用してもらえるように、「病児・病後児保育」施設を設置する際に、市として支援などを行っています。現在（※令和5年12月時点）は市内で1施設ですが、令和6年春頃には新たな施設が開設する見込みです。</p>		幼稚園・保育課
2	産業振興	<p>・実習の際、力を使う場面がたくさんあったので、医療用ロボットなど力仕事に変えられるような何かを作ったりできるといいと思います。</p>	将来計画	<p>・医療のほか、介護、農業、物流など、力仕事が必要な現場での課題解決を図るため、ロボットなど市内立地企業の関連製品を市民が利活用できるよう、今後検討してまいります。</p>	商工観光部	産業雇用政策課
3	イベントなどでの広報	<p>・お祭りとかマラソン大会とか、イベント会場で医療を身近に感じていただけるような、血圧測定とかの場所をつくって、地域の方にも身近に医療のことを知ってもらったりするのもいいのかなと思います。</p>	現在実施中	<p>・現在、地域でのイベントなどで健康づくりの取り組みについての情報を発信しているほか、血圧や血管年齢、ベジチェックなどの測定を行い、自分の体や健康状態を知り関心を持っていただく取り組みも実施しています。しかし、参加される方は健康に関心のある方が多いため、今後は関心のない方にも知っていただけるよう、さまざまな機会を通して、健康づくりの広報、情報発信を行ってまいります。</p>	健康福祉部	保健所健康推進課
4	バリアフリー	<p>・今年の夏、元気そうな高齢の方が、道を車椅子で歩いているのを見て、すごいなと思うと同時に、すごく危なくも感じました。道はデコボコだし、熱中症の危険もあるし。高齢者が独りで生活はできるけれども、すごく危ない状況になっている。数メートル離れたお店に行くのにも、車椅子があったら行けるけれども、それって本当に安全なのかなと思いました。</p>	現在実施中	<p>・これまでも福島駅周辺において歩道整備や段差解消などのバリアフリー化に取り組んできました。さらに令和4年度に、中心市街地などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、「バリアフリー基本構想」を策定し、道路や施設のバリアフリー化などについても計画的に進めることとしています。</p>	都市政策部	交通政策課

◆令和5年度 第1回ふくしま元気トーク（令和5年8月26日開催）

テーマ：「誰もが健康で安心して暮らせるまち ふくしま」

No.	カテゴリー	意見・提案内容	実施区分	担当課コメント	所管部名	担当課名
5	高齢者の健康増進	<p>・地域に住んでいる健康な高齢者を増やすために、元気な体をつくる場を設けたりして健康な人をもっと増やしていく、疾患を持ってしまった人は回復したところの維持をしていく、という取組も必要なんじゃないかなと思います。</p> <p>・高齢者の方でしたら、地域でグループを組んで、スタンブラリーとかイベントの機会をつくったりすると、地域との触れ合いにもなるし、より参加しやすく運動にもなるし、いいと思います。</p>	現在実施中	<p>・誰もが参加できるフレイル予防の取り組み「いきいきもりん体操」は、コロナ禍では活動休止団体が多くなっていましたが、今年8月時点では92%の団体が活動を再開しており、新規立ち上げ団体も増えています。 今後継続して、活動再開、新規立ち上げに向けた支援を行ってまいります。</p>	健康福祉部	長寿福祉課
			現在実施中	<p>・住み慣れた地域で健康で暮らし続けるまち「健都ふくしま」を目指して、市民、民間、行政が協力しながら健康づくりに取り組んでいます。 具体的な事業として、より楽しく活動的に健康づくりに取り組むことができるよう、日々の健康づくりや健康に関するイベントへの参加等をポイント化し、飲食店等でサービスが受けられる「健康づくりポイント事業」を行っています。 また、地域の中にある町内会や老人クラブなどのグループから依頼をいただき、健康に関する学習会を行っています。学習会では個人の健康づくりに加え、その地域の健康状況などをお伝えし、身近な地域に住む仲間同士、継続的に健康づくりに取り組むことができるよう進めています。</p>	健康福祉部	保健所健康推進課
6	AEDマップ	<p>・緊急のときにどうすればいいかというマニュアルなどを作ったり、AEDは街のどの辺にあるのかが分かると、もっといいのかなと思います。</p>	実施済み	<p>・市が賃貸者契約により設置しているAED（203台）と、市AEDサポート事業で協力をいただいているAED（17事業所：62台）については、市ホームページに掲載しています。 今後は、より見やすく分かりやすいホームページ（消防公式ホームページ）の構成とするため、適宜改善を行ってまいります。</p>	消防本部	救急課
7	医療と福祉の連携	<p>・家に居ながら診療ができるように訪問看護と連携を取りながらできると、病院としての負担も減らすことができるのかなと思いました。</p> <p>・意外と福祉とかと看護師の連携ってあまり取れていないのかなと思っていて、この職業同士で話す機会というのが意外と少ないのかなと思ったことがあります。人手が足りないとか、介護士も看護師もお互いに忙しくて、一人一人の患者さんに取れる時間が少ないというところも問題としてあって、そういうところも改善できたらいいかなと思います。</p>	現在実施中	<p>・不定期ではありますが、福島市在宅医療・介護連携支援センターが主催となって、多職種連携を推進する会議を開催し、それぞれの立場ならではの課題や悩みを共有し合い、顔の見える連携を推進しています。</p>	健康福祉部	保健所保健総務課
8	子どもからの健康意識醸成	<p>・小学校とか中学校とか、そういうところは行政も入りやすいと思うので、健康教室とかを開いて、お子さんから親に、それからその親にというような形で伝えていくことが大切なのかなと。幼い頃から健康意識を醸成していくのも大切なことなのかなと思いました。</p>	現在実施中	<p>・生涯を通して健康的な生活習慣を確立し継続していくためには、幼いころから健康意識を醸成することが大切です。 現在、小・中学校では、健康教室や学校保健委員会、食・歯・タバコなどの各推進委員会などを通して、子どもや親世代の健康課題を共有し、取り組めることを一緒に考え実践しています。各推進委員会の中でも、親世代を動かすには子どもからという意見が出ています。 また、学習センターの各学級や育児相談会、子育て支援センターや幼稚園・保育所での健康講座を通して、就学前の親子へも健康に関する情報を伝えていきます。子どもたちへの健康教育の機会を捉えてに働きかけを行い、家族全体に繋がるように、今後も工夫をしていきたいと思っています。</p>	健康福祉部	保健所健康推進課